

総務文教委員会会議録

平成24年11月30日

10時00分

開会

10時18分

閉会

網走市議会

午前10時00分 開会

○小田部委員長

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

本日の委員会はモヨロ貝塚再整備進捗状況についての議件1件であります。

モヨロ貝塚再整備進捗状況について、古田社会教育部長説明をお願いします。

○古田社会教育部長

それでは、モヨロ貝塚再整備の進捗状況について御説明申し上げます。

資料1号をごらんいただきたいと思っております。

3月に新しいモヨロ貝塚館の建物が完成いたしました。4月以降館内の展示工事や展示作業とあわせまして、史跡全体の環境整備の工事を現在進めているところでございます。オープンを平成25年5月1日といたしまして、鋭意準備を進めているところでございます。

進捗状況を写真にまとめましたので、ごらんをいただきながら御説明したいと思います。

まず、1番目の貝塚館の遠景でございます。モヨロ人が御存じのとおり海洋狩猟民族ということでクジラなどを獲っておりました。そういった関係から、クジラをイメージしたデザインになっております。

2番目、園路工事でございます。従来車で通ることができました貝塚館までの道路につきましては、歩行者専用の園路として使うということで整備をしております。駐車場はあわせて行っております、川筋地区の緑地化整備事業でつくっております、駐車場を活用するというところでございます。

3番目のフェンス工事でございます。今まで森ぎりぎりにありましたフェンスを撤去しまして、外側に広げまして道路と土手の境目に整備をしております。その結果、歩きながら森が直接見えるということにしようと考えております。

4番目、標柱移設の工事でございます。昭和11年に国指定の史跡に指定されましたけれども、森の中に標柱が設置されておりました。

それをすぐ見やすいようにモヨロ貝塚館の端のほうに設置いたしました。

あわせて案内板も製作中でございます。

5番目、6番目の写真でございますが、植栽工事でございます。モヨロ貝塚館の裏側の森にハマナスなどを植栽いたします。将来的にモヨロの森と一体化を目指すというものでございます。

7番目の貝層展示でございます。旧貝塚館の地下にございました、モヨロ貝塚の断面の様子をそのまま残したということで、新たな貝塚断面の復元をいたしまして展示をするものでございます。

8番目の出土品の展示でございます。土器などの道具を展示している様子でございます。

9番目、住居ジオラマでございます。モヨロの家を原寸大で館の中に再現するというところで、この写真でよく見ますと丸くなっていますが、実は半分から鏡になっております。入った瞬間広く見えるようになっております。これはなかなか例のない独自の手法でございます。

10番目、遺構展示室でございます。今まで旧貝塚館の前のほうにあったお墓を直接館の中から、上から見られるということにしております。途中でございますけれども、復元をしている様子でございます。

11番目は、外の様子でございます。モヨロ貝塚の場合には、野外にたくさんの墓地がございます。それを今まで雑然としていましたけれども、きちんと復元をしましてごらんをいただくというふうな作業でございます。

12番目は、河畔の整備でございます。先ほど言いました、駐車場とモヨロ貝塚館を連絡橋で、道路の上をまたいでつなぐという計画でありまして、いま工事が進んでいるところでございます。

続きまして、次のページでございますけれども、モヨロ貝塚館のハード面の整備とあわせまして、市民または観光客にモヨロ貝塚のことをしっかりと理解をしていただく、また、史跡整備の重要性をアピールしたいということで、昨年市内4カ所に本物の出土品を展示しておりますけれども、平成24年5月でしたけれども、女満別空港の到着ロビーにグレードの高い展示ケースを設置しまして、本物の土器などを設置しているものでございます。

効果がありまして、これを見て、モヨロ貝塚館が建築中でありますので、博物館に直接来られた方も何人かおられた状況でございます。

2番目は、モヨロ貝塚の学習会であります。博物館主体でやっているものもございまして、団体とか学校からの要請、それと社会教育事業の寿大学でありますとか、あばしり学から講演という形で要請がありまして、七つほど例を挙げておりますけど、こういった学習会を行っております。

作業の合間を縫ってということで、かなり忙しい中での学習活動も積極的に行っているということです。

先日NHKで取り上げていただきました。ニュースの中で取り上げてもらいました。正月には経済の伝書鳩がモヨロ貝塚の特集をお正月号に載せていただいたことになっております。

今後のスケジュールでございますけれども、5月1日のオープンを目指しますが、委員の皆様を初め、観光関係者などの方になるべく早い時期に見学をしてもらいたいと思っておりますが、資料がいま雑然としている中で、その資料を本当に大事に展示をしているという状況でございますので、展示が落ちつく3月に予定をしております。

なるべく観光の素材としてPRに早く使えるような形でということで思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

また、4月以降はまだ残っております園内のフェンスの一部とか案内板などの事業を4月1日以降、平成25年度事業として、オープンはしますけれども残りの事業を行っていくということを考えております。

以上でございます。

○小田部委員長

今、部長からモヨロ貝塚再整備の進捗状況について説明がありました。

これに対しての皆さんの意見をいただきます。

○飯田委員

全体としては、これから地図も示して整備しているんですけど、補助の関係で駐車場がかなり離れました。連絡橋を設けてやるということですが

ど、この手の施設としては、網走では北方民族博物館があります。あそこは直接入り口まではバスが入ることができません。駐車場がありまして、歩いている距離が結構冬期間長いのです。だから、ここも冬期間なかなか入り口までバスなどが来られないということで、その辺の除雪も含めて、寒さだとか、そういう感じなのですけれども、その辺はいろいろ検討なさったと思うんですけど。

○古田社会教育部長

駐車場からの連絡橋なのですけれども、そこに上がるまではエレベーターを使うということで、そういった管理は、モヨロ貝塚館のスタッフが除雪等、大がかりな除雪は別としまして、細かい除雪はモヨロ貝塚館のスタッフが行います。

障がい者の方たち等につきましては、裏側から入っていただくという経路も用意しております。

なるべく不便をかけない形で、駐車場からすぐに上がってもらって、連絡橋を渡りきりましたら目の前がすぐに玄関のところですので、そういった形でなんとか御不便をかけないように思っております。

○飯田委員

その辺はいろいろ、きちんと障がい者対策、バリアフリー対応してもらいたいと思っております。

植栽工事ですが、ハマナス等を植栽していくということなのですが、これを見ると結構広いですよね、植栽の面積が。将来的にはこの建物を植栽しても見せながら、後ろの森と一体化していくのか、結構伸びたので、建物が見えなくなるなどいろいろなイメージがあるのですけれども、最終的などどういようなイメージを持っているのですか。

○古田社会教育部長

ハマナスなどを植栽するのですが、なるべく伸びない低いものを考えております。

○飯田委員

建物を活かして、モヨロの森、後ろの森を活かしてということだと思います。

それとかなりの展示があります。夏場は外も見られるということですが、野外。

北方民族博物館もそうなのですが、説明的なもの、北方民族博物館はある程度しゃべりかける機械がありまして、それでやるのか、それとも説明ガイドがいて、ガイドがいるとかなり専門的な知識というのですか、訓練をしないと大変だと思います。その場合、私はいろいろ、この委員会で去年博物館で説明を受けたり、米村館長の説明なんかを聴きますと非常にわかりやすいですし、市民大学でも受講していて、わかりやすい説明であるのですが、それぐらいの範囲で説明するのかどうか含めて構想があると思うのですが。

○古田社会教育部長

そこが一番大事なところでございまして、基本的には今製作中ですが、ガイダンスビデオを上映するというのと、子供が理解できるような形での表示の仕方、パンフレットの作成等を考えております。

それと直接ガイドさんが説明するのがベストだと思います。当面は多分、博物館の職員が分館という扱いですから、モヨロ貝塚館のほうになるべく常駐するような形で対応していく。その間、ボランティアの方の協力を得て育成をしていくなり、臨時職員、嘱託職員もまだはっきりしていませんが、しっかりとガイドができるような養成をしていくということを考えております。最初はやはり学芸員が主にやらざるを得ないかなと思っております。

○飯田委員

その辺が今後この委員会で、体制ですかね、学芸員を含めた体制を私は議論していきたいと思うのです。

特に濤沸湖の水鳥・湿地センターの体制もなかなか厳しい体制ということで聞いております。せっかく初めが大事ですから、体制を強化しながらやると、それとこれだけの物ができると、講座等非常に学習会をやっているのですが、今言った、観光的な活用ということがあるのですが、モヨロを知ってもらったり、網走を知ってもらう講座、特に北方民族博物館なんかは講座などいろいろやっております。展示、講座など、そういう考えも

あるのかどうか。

私は北方民族博物館の年間の会員になってます。会員になるといろいろ、常時行けますし、いろいろな特典があったりして、非常にあういう制度が北方民族博物館の内容等を広げていっているということもありますし、そういう考えもあるのかどうか伺いたいのですけど。

○古田社会教育部長

現在も博物館のほうで博物館友の会の方の協力を得ながら、今度の日曜日もやるのですが、アザラシの油を使ったランプの製作、火おこしの体験ですとか、いろいろとやっております。

モヨロ貝塚館ができましたら、そういった講習等をモヨロ貝塚館の現場でというのが理想でありまして、その場所がどこかといいましたら7番目の貝層展示をしているスペースがございしますが、この貝層は壁に設置をしております。中の空間は広く取っております、この移動式の机を出せるようにしておきまして、ここで教室等、体験等をやれるようなスペースというふうに考えております。

また、2階の窓側にスペースを設けまして、モヨロに関する資料や本などを置いて、そこに机を置いて学習できるようなスペースということも考えております。

そういった形で、今まで同様、学習会や体験等を進めていければと考えております。

○飯田委員

いろいろまだ体制等含めて、今後委員会で議論していきたいと思います。

○小田部委員長

よろしいですか。

それでは、これからいろいろ整備や体制については、委員の意見等を十分配慮された整備をお願いしたいと思います。

きょうの議件1件なのですが、その他何かこの際ですから、委員の皆さん意見ありませんか。

(「なし」の声あり)

○小田部委員長

理事者のほうはいかがですか。

(「ありません」の声あり)

○小田部委員長

それでは以上をもって本日の総務文教委員会を終了とさせていただきます。

午前10時18分 閉会